

公益財団法人 放送文化基金
平成30年度 事業計画
(自 平成30年4月1日 ～ 至 平成31年3月31日)

平成30年度も基幹事業である「1助成、2表彰、3支援活動」を中心に事業を展開する。

1 助成事業

平成29年度に引き続き、総額6,000万円（うち、1,000万円は東京ケーブルビジョンから受入れた寄附金を積立てた技術開発助成費用積立金の取崩しによる）で放送研究の発展と若手を中心とした研究者の裾野の拡大に取り組む。

助成対象を決定した際は、対象者とテーマを記者発表し、ホームページで公表する。なお、本年度より英語版ホームページでの公表を開始する。

3月の「助成金贈呈式」では、近年助成したプロジェクトの中から、視聴者の関心の高いテーマや時宜を得たテーマをとりあげ、研究報告会を行う。

予 算 5,611万円

2 表彰事業

視聴者に感銘を与え、放送文化の発展と向上に寄与した優れた番組と、放送文化および放送技術に関する著しい貢献に対し表彰を行う。

(1) 放送文化基金賞

全国の民放、NHK、番組制作会社を対象に、広く応募を募り、番組部門と個人・グループ部門の2部門を表彰する。

「放送文化基金賞」の決定については、その受賞作品、受賞者、選考理由等を記者発表し、ホームページで公表する。

○ 番組部門

前年度に放送されたテレビドキュメンタリー、テレビドラマ、テレビエンターテインメント、ラジオの4分野の番組を対象とする。

番組の表彰（最優秀賞、優秀賞、奨励賞） 計16本以内

個人への賞（演技賞、企画賞、演出賞等） 計 5件以内

○ 個人・グループ 部門

次の2分野で主に前年度に顕著な業績を挙げた個人またはグループを対象とする。

放送文化・・・放送界に新生面を拓くなど放送文化の発展・向上に

貢献した個人またはグループ 4件以内
放送技術・・・技術の開発や放送現場での工夫・考案で効果を挙げ
た個人またはグループ 4件以内

(2) 他の賞への参加

国際コンクールである「ABU賞」(主催 アジア太平洋放送連合)、
「日本賞」(主催 NHK)、「創作テレビ・ラジオドラマ大賞」
(主催 日本放送作家協会・NHK)へ参加し、優れた番組や企画、
脚本にそれぞれ賞金を贈呈する。

◎ABU賞・・・優れた番組の表彰(ABU賞全体へのスポンサーとして)

◎日本賞・・・教育に役立つテレビ番組の優れた企画の表彰

◎創作テレビ・ラジオドラマ大賞・・・優れた創作脚本の表彰

予 算 4, 599万円

3 支援活動事業 (制作者フォーラム)

放送に携わる若手制作者の人材育成を支援する施策として、地域の制作者が
組織の枠を越えて交流を図る制作者フォーラムを各地区および東京で開催。
今年度は昨年開始した愛知・岐阜・三重を含め、5地区での開催を予定。

予 算 1, 270万円

4 広報

事業の活動状況を広く紹介するための広報誌(放送文化基金報「HBF」)
第88号(春号)を4月、第89号(秋号)を9月に刊行し配布する。
また、ホームページを使い、基金の活動全般について迅速に、わかりやすい
形で掲載する。

予 算 458万円

5 助成費用準備資金の積立て

助成事業の安定実施に資するため、平成26～30年度の5カ年で1億円を
積立て、その後の5年間の助成事業に必要となる支出に備える。

予 算 1, 000万円